

# 平成29年度 決算報告(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

## 貸借対照表

平成30年3月31日現在

公益財団法人 美術文化振興協会

科 目	当年度	前年度	増減
<b>【資産の部】</b>			
流動資産			
現金	80,880	94,181	△ 13,301
普通預金	839,822	55,386	784,436
定期預金	0	1,294,128	△ 1,294,128
立替金	22,740	0	22,740
流動資産合計	943,442	1,443,695	△ 500,253
固定資産			
基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
特定資産			
普通預金	2,705,366	0	2,705,366
定期預金	10,294,634	14,000,000	△ 3,705,366
特定資産合計	13,000,000	14,000,000	△ 1,000,000
特定費用準備資金			
45周年記念事業準備資金	1,520,000	1,520,000	0
日本アセアン文化交流事業準備資金	1,500,000	1,500,000	0
顕彰事業準備資金	2,250,000	2,250,000	0
新規展覧会準備資金	1,500,000	1,500,000	0
特定費用準備資金	6,770,000	6,770,000	0
固定資産合計	22,770,000	23,770,000	△ 1,000,000
資産合計	23,713,442	25,213,695	△ 1,500,253
<b>【負債の部】</b>			
流動負債			
未払金	0	8,808	△ 8,808
預り金	7,091	152,002	△ 144,911
流動負債合計	7,091	160,810	△ 153,719
負債合計	7,091	160,810	△ 153,719
<b>【正味財産の部】</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	23,706,351	25,052,885	△ 1,346,534
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	23,706,351	25,052,885	△ 1,346,534
負債及び正味財産額	23,713,442	25,213,695	△ 1,500,253

## 正味財産増減計算書(総括表)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

公益財団法人 美術文化振興協会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	[ 2,039 ]	[ 4,029 ]	[ △ 1,990 ]
受取利息収入	2,039	4,029	△ 1,990
基本財産利息収入	0	0	0
寄付金収入	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
受取助成金	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
その他収入	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
経常収益計 ( A )	2,039	4,029	△ 1,990
(2) 経常費用			
事業費	[ 983,060 ]	[ 1,342,465 ]	[ △ 359,405 ]
国際交流事業(謝礼・教材費・翻訳料等)	107,342	431,091	△ 323,749
役員報酬	0	0	0
給与手当	576,000	576,000	0
荷造運賃発送費	0	0	0
旅費交通費	112,107	100,185	11,922
交際費	72,542	117,373	△ 44,831
通信運搬費	13,672	12,032	1,640
会議費	5,109	9,496	△ 4,387
消耗品費	288	288	0
事務用品費	0	0	0
支払報酬	0	0	0
賃借料	96,000	96,000	0
管理費	[ 365,513 ]	[ 245,631 ]	[ 119,882 ]
役員報酬	0	0	0
給与手当	144,000	144,000	0
荷造運賃送料	0	0	0
旅費交通費	28,027	25,046	2,981
交際費	18,135	29,343	△ 11,208
通信運搬費	3,418	3,008	410
会議費	1,277	2,374	△ 1,097
消耗品費	144	144	0
事務用品費	0	0	0
賃借料	24,000	24,000	0
租税公課	0	1,500	△ 1,500
支払報酬	108,000	0	108,000
支払手数料	37,712	15,416	22,296
雑費	800	800	0
経常費用計 ( B )	1,348,573	1,588,096	△ 239,523
税引前一般正味財産増減額	△ 1,346,534	△ 1,584,067	△ 237,533
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,346,534	△ 1,584,067	△ 237,533
一般正味財産期首残高	25,052,885	26,636,952	△ 1,584,067
一般正味財産期末残高	23,706,351	25,052,885	△ 1,346,534
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	23,706,351	25,052,885	△ 1,346,534

**正味財産増減計算書(内訳表)**  
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

公益財団法人 美術文化振興協会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法 人 会 計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用収入	[ 2,039 ]		[ ]		[ 2,039 ]
受取利息収入	2,039				2,039
基本財産利息収入	0				0
寄付金収入	[ 0 ]		[ ]		[ 0 ]
寄付金収入	[ 0 ]		[ ]		[ 0 ]
受取助成金	[ 0 ]		[ ]		[ 0 ]
その他収入	[ 0 ]		[ ]		[ 0 ]
経常収益計 ( A )	2,039	0	0	0	2,039
(2) 経常費用					
事業費	[ 983,060 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 983,060 ]
国際交流事業(謝礼・教材費・翻訳料等)	107,342				107,342
役員報酬	0				0
給与手当	576,000				576,000
荷造運賃発送費	0				0
旅費交通費	112,107				112,107
交際費	72,542				72,542
通信運搬費	13,672				13,672
会議費	5,109				5,109
消耗品費	288				288
事務用品費	0				0
支払報酬	0				0
賃借料	96,000				96,000
管理費	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 365,513 ]	[ 0 ]	[ 365,513 ]
役員報酬			0		0
給与手当			144,000		144,000
荷造運賃送料			0		0
旅費交通費			28,027		28,027
交際費			18,135		18,135
通信運搬費			3,418		3,418
会議費			1,277		1,277
消耗品費			144		144
事務用品			0		0
賃借料			24,000		24,000
租税公課			0		0
支払報酬			108,000		108,000
支払手数料			37,712		37,712
雑費			800		800
経常費用計 ( B )	983,060	0	365,513	0	1,348,573
税引前一般正味財産増減額	△ 981,021	0	△ 365,513	0	△ 1,346,534
法人税、住民税及び事業税					0
当期一般正味財産増減額	△ 981,021	0	△ 365,513	0	△ 1,346,534
一般正味財産期首残高					25,052,885
一般正味財産期末残高					23,706,351
II 指定正味財産増減の部					0
当期指定正味財産増減額					0
指定正味財産期首残高					0
指定正味財産期末残高					0
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	23,706,351

平成29年度 財産目録

公益財団法人 美術文化振興協会

平成30年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金額
<b>( 流 動 資 産 )</b>					
	現金	手元現金		運転資金として	41,081
		外貨預金 ユーロ(129.1EUR)		運転資金として	16,425
		外貨預金 タイバーツ(7,350.54THB)		運転資金として	23,374
	普通預金	三菱東京UFJ銀行	銀座通支店	運転資金として	16,976
		三井住友銀行	世田谷支店	運転資金として	10,951
		三菱UFJ信託銀行	吉祥寺支店	運転資金として	10,777
		三井住友銀行	西荻窪支店	運転資金として	801,118
	立替金				22,740
<b>流動資産合計</b>					<b>943,442</b>
<b>( 固 定 資 産 )</b>					
基本財産	定期預金	三井住友銀行	世田谷支店	基本財産として	3,000,000
特定資産	普通預金	三井住友銀行	西荻窪支店	特定資産として	2,705,366
	定期預金	三井住友銀行	世田谷支店	特定資産として	2,000,000
		三菱東京UFJ銀行	銀座通支店	特定資産として	7,000,000
		三菱UFJ信託銀行	吉祥寺支店	特定資産として	1,294,634
特定費用準備資金	定期預金	三菱UFJ信託銀行	吉祥寺支店	45周年記念事業準備資金	1,520,000
		三菱UFJ信託銀行	吉祥寺支店	日本アセアン文化交流事業準備資金	1,500,000
		三菱東京UFJ銀行	銀座通支店	顕彰事業準備資金	2,000,000
		三菱UFJ信託銀行	吉祥寺支店	顕彰事業準備資金	250,000
		三菱東京UFJ銀行	銀座通支店	新規展覧会準備資金	1,000,000
		三菱UFJ信託銀行	吉祥寺支店	新規展覧会準備資金	500,000
<b>固定資産合計</b>					<b>22,770,000</b>
<b>資産の部合計</b>					<b>23,713,442</b>
貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金額
流動負債	預り金			源泉所得税	7,091
	未払金			従業員立替経費	0
<b>流動負債合計</b>					<b>7,091</b>
<b>負債の部合計</b>					<b>7,091</b>
<b>正味財産</b>					<b>23,706,351</b>

# 平成29年度 附属明細書

公益財団法人 美術文化振興協会

平成30年3月31日現在

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているために、附属明細書での記載は省略します。

2. 引当金の明細

該当事項はありません。

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理・・・消費税込額で表示している。

### 2. 基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
特定資産	14,000,000	0	1,000,000	13,000,000
特定費用準備資金				
45周年記念事業準備資金	1,520,000	0	0	1,520,000
日本アセアン文化交流事業準備資金	1,500,000	0	0	1,500,000
顕彰事業準備資金	2,250,000	0	0	2,250,000
新規展示会準備資金	1,500,000	0	0	1,500,000
小計	20,770,000	0	0	19,770,000
合計	23,770,000	0	1,000,000	22,770,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る部分)
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	3,000,000	0
小計	3,000,000	0	3,000,000	0
特定資産				
特定資産	14,000,000	0	13,000,000	0
45周年記念事業準備資金	1,520,000	0	1,520,000	0
日本アセアン文化交流事業準備資金	1,500,000	0	1,500,000	0
顕彰事業準備資金	2,250,000	0	2,250,000	0
新規展示会準備資金	1,500,000	0	1,500,000	0
小計	20,770,000	0	19,770,000	0
合計	23,770,000	0	22,770,000	0

# 監査報告書

公益財団法人 美術文化振興協会

理事長 大津 英敏 殿

平成30年5月28日

公益財団法人 美術文化振興協会

監事

高橋 幸彦 

公益財団法人 美術文化振興協会

監事

乙丸 哲彦 

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。